

発表5

HAKODATE DEEP WEST

ロケーションベースド AR 技術を活用した
サービスデザイン

公立はこだて未来大学

HAKODATE DEEP WEST プロジェクトチーム

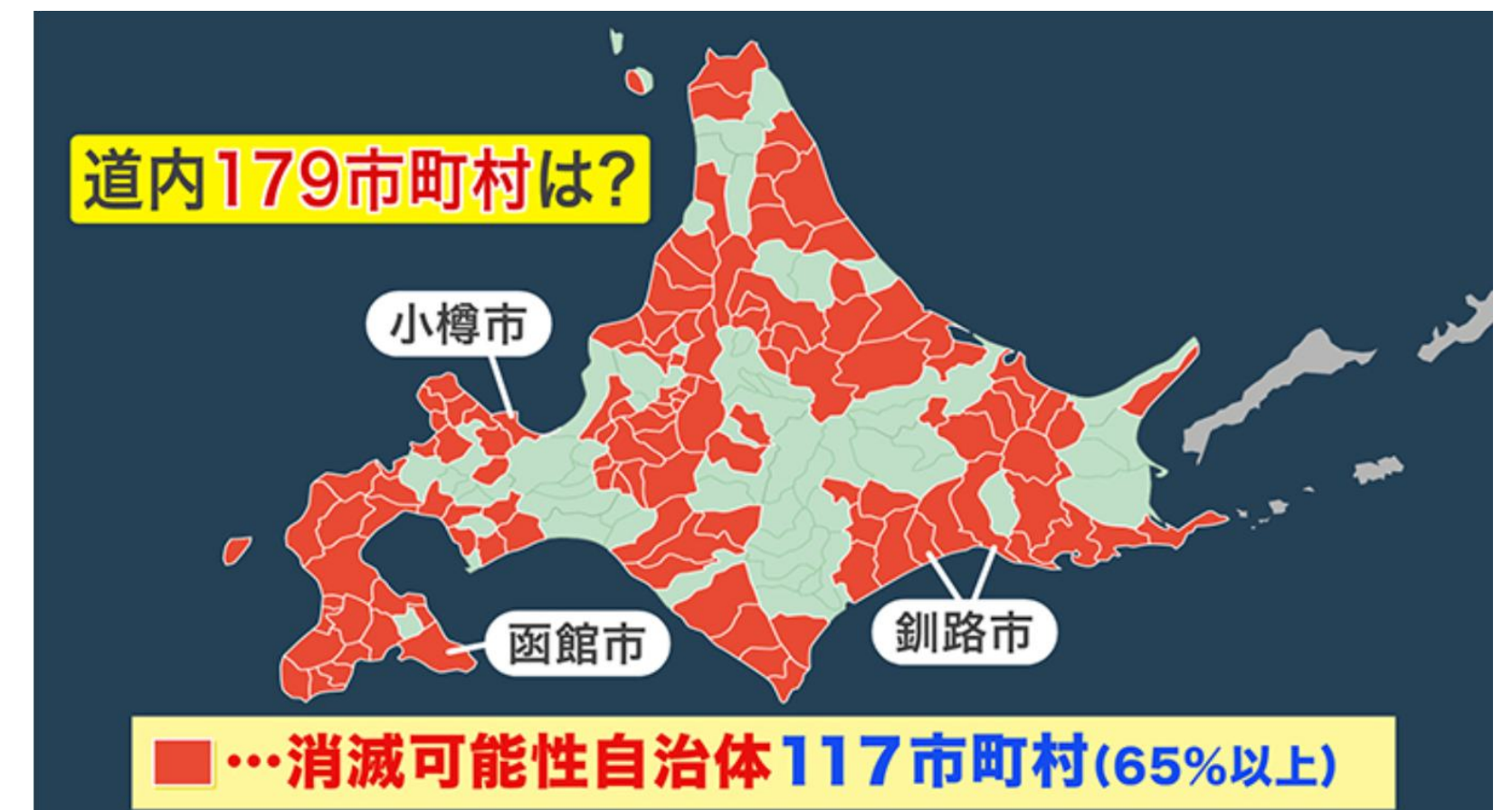
発表者

AOYAMA Daishin, KATO Miu, TADA Ayaka

プロジェクトの背景

函館市は全国有数の観光地である一方、人口減少、コミュニティの衰退など課題も抱えている。

人口戦略会議の分析でも
消滅可能性自治体に指定



出典: Hokkaido Intellect Tank

<https://www.hit-north.or.jp/information/2024/04/24/2171/>

<https://www.uhb.jp/news/single.html?id=42164>

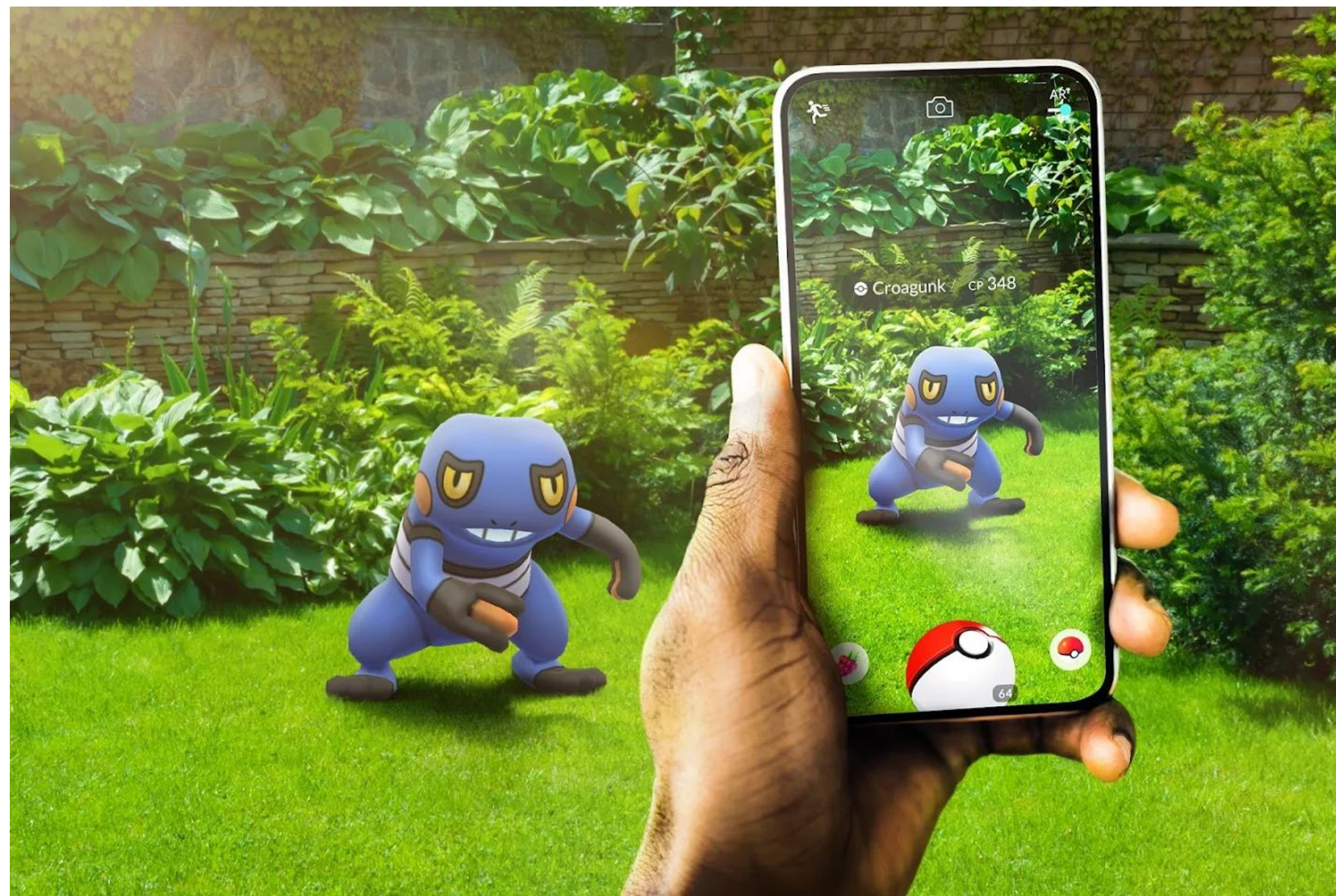
プロジェクトの目的

函館市役所、地域生活者を巻き込みながら、
いわゆる「西部地区」の
さらに西部にあたる地域の魅力を
新しい地域サービス、
地域コミュニティの
アイデアとして発掘し、
実装していく。



技術的制約の設定

ロケーションベースドARとは



左図: Niantic, Inc”Pokémon GO”. <https://pokemongolive.com/> (2024-06-25参照).

右図: 森ビル株式会社”TOKYO NODE Xplorer”. <https://tokyonode.jp/lab/events/202310-2/index.html> (2024-06-25参照).

去年までの事例

五稜郭AR戦争

五稜郭と五感で楽しむARサバイバルゲーム



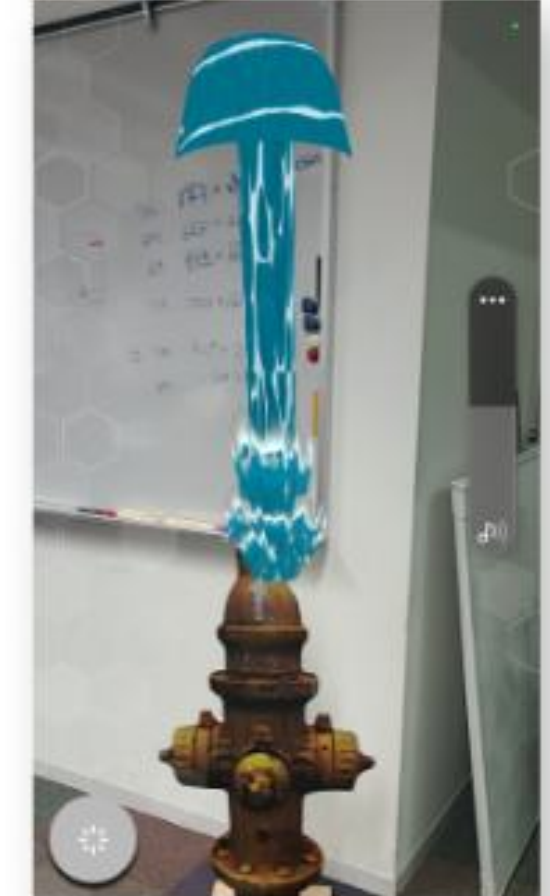
星空メモリアル

函館山で旅の思い出を振り返るサービス



消火栓見てもまSHOWか！？

消火栓を起点とした思い出作りができるサービス



企画内容①

DEEP WESTの地域コミュニティを活性化し 魅力を再発見するSNS

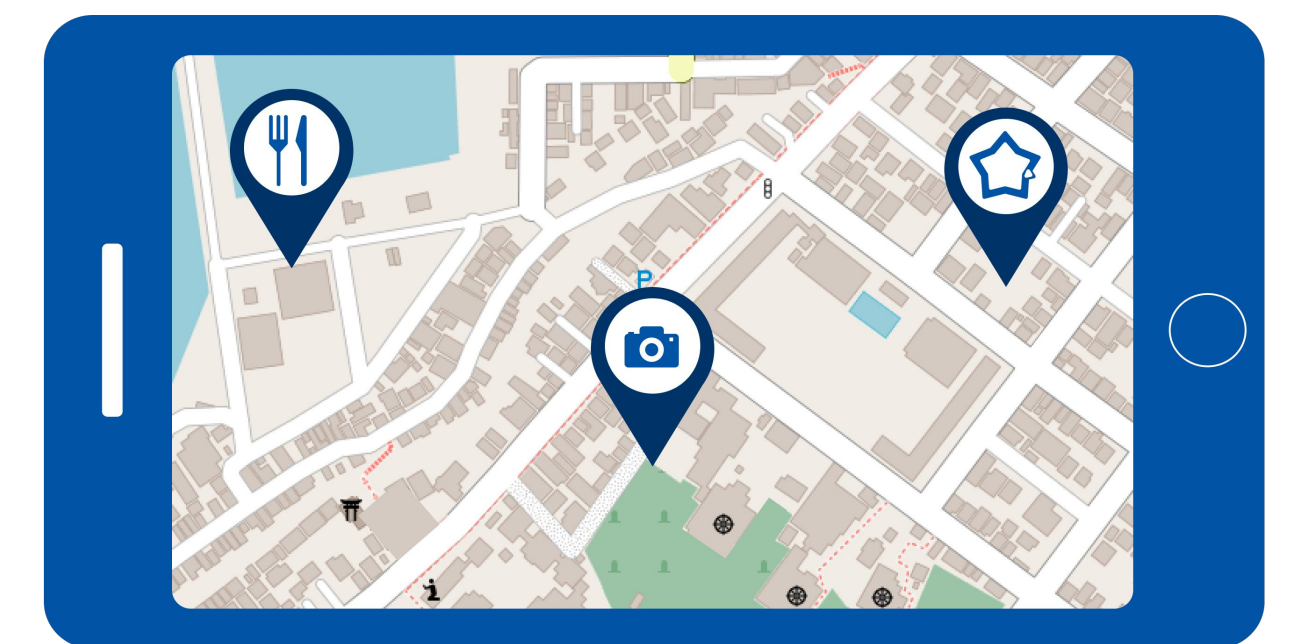
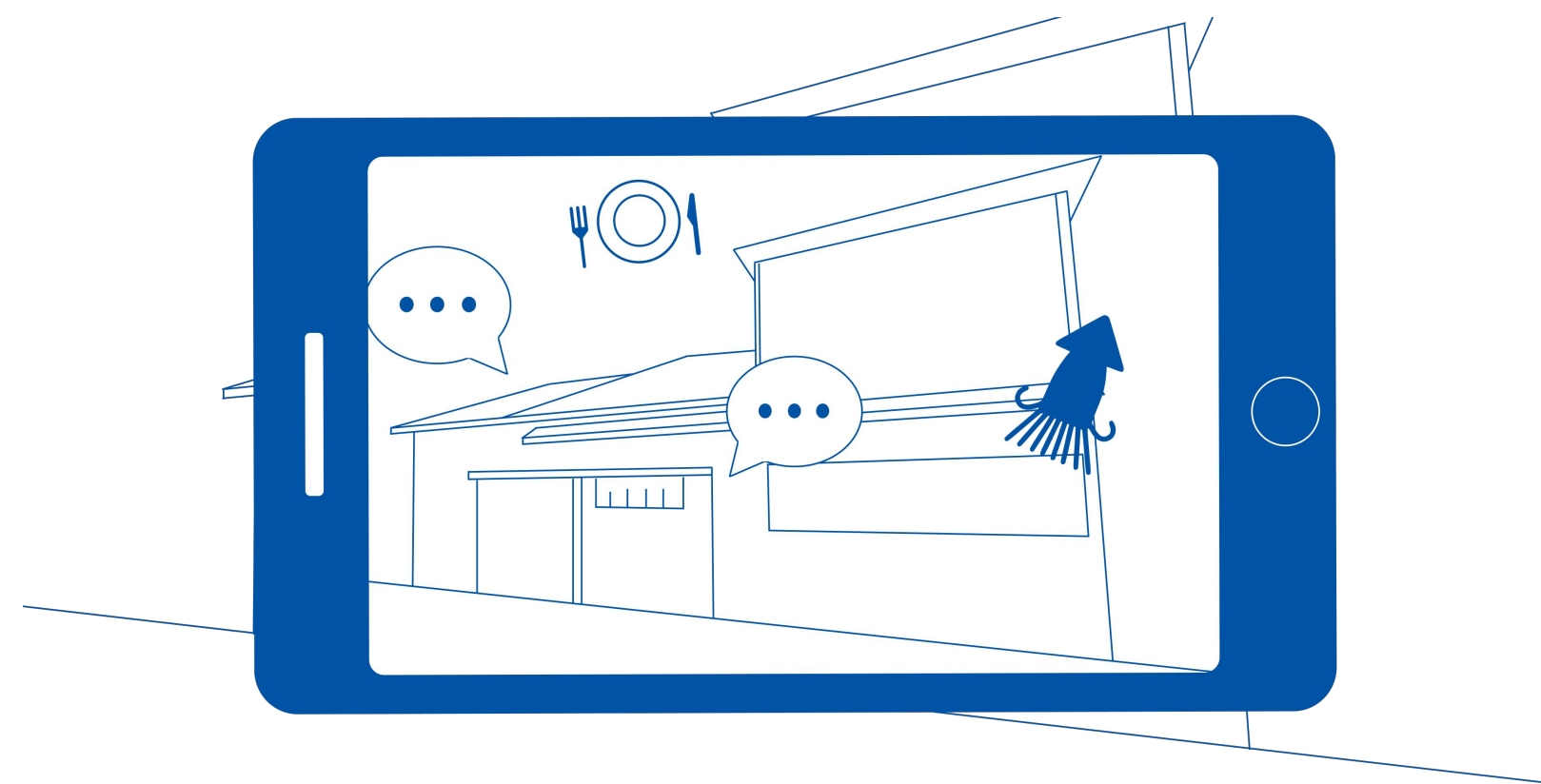
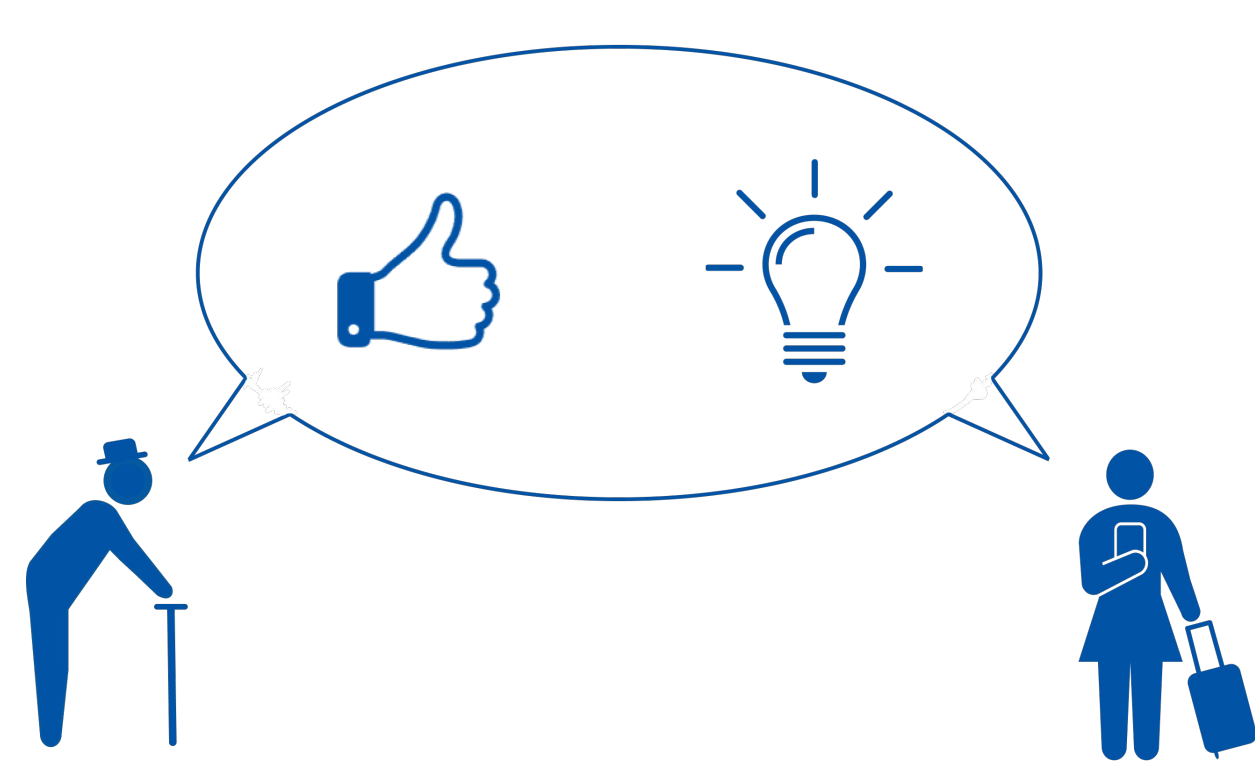
生活者によって構成される「地域の性格」をつながりを通して可視化し、訪問者にも開かれたものとする事で、地域に付加価値をもたらす。



企画内容②

観光客と地元民をつないで西部地区を盛り上げる ARマップアプリ

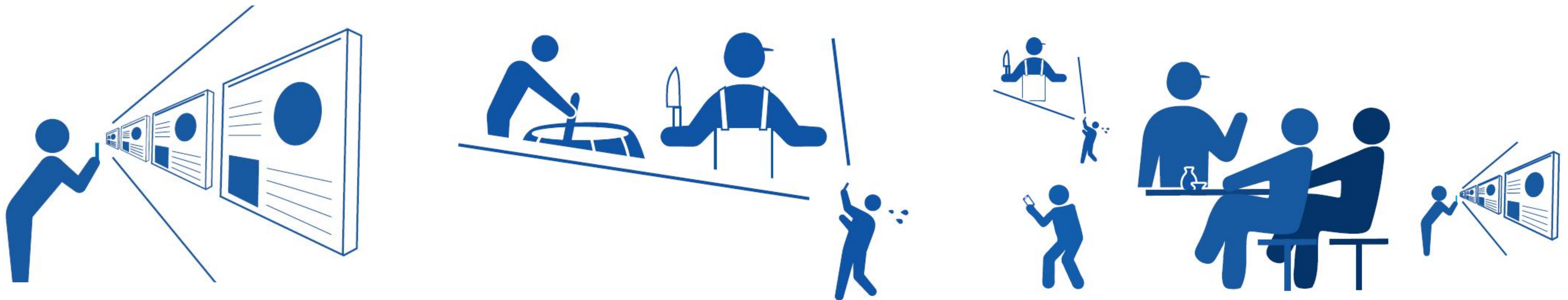
AR技術を用いたスポット情報やコメント、イラストの表示によって函館西部地区の知られざる魅力を知ってもらうためのアプリ



企画内容③

イカ目線で塩辛の製造工程を体験できるAR

小田島水産で現在使われていないイカ倉庫を利用し、倉庫全体を機械や樽に見立てた体験型ARアプリを作成する。このアプリを通じて食文化の一部として塩辛に対する関心を高めることを目的とし、これまでにない唯一無二の酒場体験を提供する。



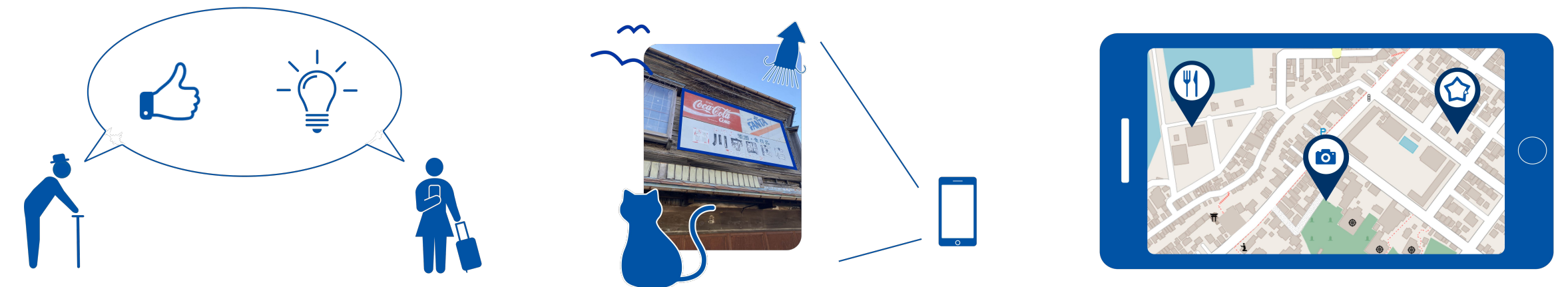
今後の予定

今後半年でこれらのプロダクトを実装します

写真と位置情報によるオープンな
地域コミュニティのためのSNS



観光客と地元民をつないで
西部地区を盛り上げるARマップアプリ



イカ目線で塩辛の製造工程を
体験できるAR



話したいこと

**これらのサービスが地域に浸透するには
地域目線で何が必要か？**

なじみやすくするための機能、
実は気づけていない課題がある？などなど